

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		NPO法人はあとびあ 2 1 エール		公表日		R8年 1月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90.9%	9.1%	・フロアを活動別に分けて使用している。 ・個室を着替えや個別支援が必要なこどものために活用している。	・利用者の多い日は、安全に気を付けて活動を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	90.9%	9.1%	・個別サポートが必要なこどもには、できる限り個別支援を行っている。	・外出時には十分な安全管理をするために補助的な職員を補充したい。 ・体調不良の職員がいる時、急に出動できる方がいない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90.9%	9.1%	・衝立の活用やテーブルの位置を固定することで、こどもはどこで何をするか分かっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	90.9%	9.1%	・日々の清掃及び机などの消毒を欠かさず行っている。 ・少しずつ蛍光灯がLEDに代わりカバーも付き、より安全に過ごせるようになった。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90.9%	9.1%		・個室が一つしかないので、使用が制限される時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	72.7%	27.3%	・月に2回、ミーティングを行っている。	・ミーティングには全員の参加が難しい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90.9%	9.1%	・月に2回のミーティングで意見を聞いた り、伝達ノートや議事録を活用したりしている。	・年度初めや年度終わり、学校の長期休業前後にもミーティングを行い、職員の意見を把握するとよい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63.6%	36.4%		・職員全体に第三者委員会の存在が知られていなかったため、今後、説明の機会をもち、評価を事業者内で共有していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	・はあとびあ 2 1 が主催の研修会（虐待防止と感染症予防）を行った。また、各種の研修会を職員に案内し、参加を呼び掛けている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	・はあとびあ 2 1 の3つのデいで法人の理念に基づいて支援プログラムを作成し、HPで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・今年度アセスメントの見直しを行った。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・職員参加のもとモニタリングや支援会議を行い、個別支援計画の成果や課題を検討している。	・支援計画について十分に理解ができていない職員に対しては個別に説明する機会をとりたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・日々のこどもの記録ノートに個別支援計画をファイルし、職員が意識できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	72.7%	27.3%	・事業所で作成したアセスメントシートを使用し、日々の行動観察、保護者からの聞き取りによっても状況を確認している。	・アセスメントについて、モニタリングなどで周知する機会をもつ。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90.9%	9.1%	・ガイドラインと家族のニーズに基づいて作成している。モニタリングや支援会議において具体的な支援内容を検討し、支援計画を作成している。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	72.7%	27.3%	・年間計画に基づいて、複数職員で話し合 って決めている。	・常勤職員が中心になりがちなため、他職 員からの案を求める機会を作っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	81.8%	18.2%	・ガイドラインの4つの基本項目を組み合 わせた内容で計画を立て、実施している。	・マンネリ化しないよう、いろいろな事業 所の実践の情報を得たり、共同で行ったり していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	81.8%	18.2%	・集団での活動（イベント・運動・調理・ 読み聞かせ等）、個別の活動（創作・おや つ作り等）を組み合わせで活動を行ってい る。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行 っているか。	45.5%	54.5%	・個々の役割を明示し、自分で確認でき るように伝達ノートや掲示物、ホワイトボ ード、議事録などで伝えるようにしている。 必要に応じて個別に伝達している。	・就業時間がばらならなので、全員そろっ ての打ち合わせはできない。徹底できな いことがあり、工夫が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63.6%	36.4%	・勤務職員全員での打ち合わせはできな いので、こどもの記録を書くことで支援の振 り返りを行い、毎日、児童発達支援管理責 任者が確認している。	・個々の職員から必要事項を伝えてもら う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	100.0%	0.0%	・記録をしっかりとっていて、職員全員が 共有できるようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	・月2回のミーティングでモニタリングを 行っている。	・参加できない職員から意見の聞き取りを 行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせで支援を行っているか。	90.9%	9.1%	・ガイドラインに基づき、年間計画を作成 し、年度末に見直しをした。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・活動の参加の仕方や時間の過ごし方を自 己決定する場面を作っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90.9%	9.1%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	45.5%	54.5%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	90.9%	9.1%	・学校と直接連絡を取ったり、保護者から お便りを見せてもらっている。 ・支援学校との連絡会には参加している。	・必要に応じて担任と相談する機会をもっ ていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	36.4%	63.6%	・今年度は対象となる1年生がいなかった が、新1年生がいる年度は、関係機関と連 携を取って支援計画を作成する。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	27.3%	72.7%	・該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	27.3%	72.7%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	90.9%	9.1%	・地域の児童館をよく利用している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	18.2%	81.8%		・管理者が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	・送迎時には担当者がこどもの様子を伝え るようになり、HUGシステムやLINEを 活用して共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	54.5%	45.5%	・いろいろな事業所主催の研修会の案内を 玄関に掲示している。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	45.5%	54.5%	・利用開始時に説明している。支援プログラムは、HPで公開してある。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	・保護者と定期面談を行っている。また、相談支援事業所で作成する利用計画を参考に、保護者の意向を把握している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	81.8%	18.2%	・迎え時に説明をし、一度持ち帰って読んでもらってから同意を得ている。必要な場合は見直しを行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	90.9%	9.1%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	63.6%	36.4%	・現在、父母の会は設立していない。 ・8月に親子夏祭りを実施した。	・保護者会への参加者が少ない。父母の会については、今後、検討が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	81.8%	18.2%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	90.9%	9.1%	・HUGシステムを活用し、こどもの日々の様子や支援および必要事項を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	27.3%	72.7%	・作品展を開催し、ポスターなどで地域に案内している。	・他事業所の取り組みを参考にし、招待できるような活動を今後検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90.9%	9.1%	・多様な想定で避難訓練を2か月に1回行ってきた。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90.9%	9.1%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	81.8%	18.2%	・保護者から聞き取り、チェックしている。服薬については、変更があったときに連絡をしてもらう。	・全員に周知徹底する機会を設ける。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	63.6%	36.4%	・現在の利用者は、医師の指示書はないが、保護者からの聞き取りで対応している。（アナフィラキシー症状が心配されるこどもはいない）	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	81.8%	18.2%		・緊急時の連絡体制や具体的な対応について保護者会で説明する場を設け、周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	・問題をすぐに報告するように共通理解している。方策は口頭で伝達したり、連絡ノートに記入して知らせたりしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	81.8%	18.2%	・はあとびあ21合同の研修会を開催した。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	63.6%	36.4%	・対象となるこどもの保護者には、口頭で詳しく説明し、確実に了解を得た。支援計画にも明記した。	・共通理解の場を設けたが、周知が不十分だったため、再度、理解を求めていく。